

KOCHI 2012 ROTARY 2013 CLUB SINCE 1937



2012-13年度国際RIテーマ

週報



Weekly report 第3107回 2012年12月18日 2012年1月8日発行

● 会長挨拶



今日は高松から2670地区木村大三郎ガバナーにお越しいただいております。それと、久美子令夫人、野口一臣地区代表幹事、中村クラブから高知分区の東邦彦ガバナー補佐にお越しいただいております。皆さん、本当によくお越しくださいました。高知RC会員全員で歓迎申し上げます。

また、木村ガバナーは、過日、旭日小綬章という大変名誉な章を受章されました。本当におめでとうございます。

木村ガバナーは今年の5月まで高松で、本会の横田英毅会員と同じ業種でありますネットヨタ高松の社長様を32年間にわたってされておられました。並びに地域の経済活動にも随分尽力されておられて、そういう事柄が今回の受章につながったんだと思います。実は私、以前土佐経済同友会の代表幹事を務めさせていただいていた平成17、18

年頃、木村ガバナーが香川経済同友会の代表幹事をされておられました。その頃には全国いろんな会議でお目にかかり、ご指導いただき、お世話になりました。本当にありがとうございます。久しぶりにお目にかかれて大変喜んでます。

木村ガバナーにおかれましては、本日がこの半年の最後の公式訪問ということで、高知クラブへお越しいただいております。こういう言い方は失礼かもしれませんが、この半年間、大変な公式訪問のラッシュだったと思います。本当にお疲れさまでございました。どうか、今日は旅のわらじを脱いでと言いますか、旅の汗を流して、この後の「土佐流のおきやく」をくつろいでお楽しみいただければ幸いです。また、お楽しみいただきながらご歓談いただくことで、次年度、関ガバナーエレクトの素晴らしい激励にもなろうかと思っております。どうかよろしく願いいたします。

後ほど、木村ガバナーには恒例のガバナーアドレスをちょうだいすることになっています。



高知クラブが心を1つにして支える 関 裕司ガバナーエレクト

■活動報告他

2012年

- ・12月16日(日) 次期 関ガバナー壮行会
- ・12月18日(火) 木村ガバナー公式訪問・忘年夜間例会
- ・12月25日(火) 次期 関ガバナー激励会 高知RC女子会&〇〇男子

上記→関連写真を掲載しております

2013年

- ・1月12日(土)～21日(月) ガバナー研修・国際協議会／アメリカ・サンディエゴ

12月16日 次期・関ガバナー壮行会

■本日のプログラム [1月8日]

サロン例会

会 長	千 頭 邦 夫
副 会 長	広 末 幸 彦
幹 事	中 村 裕 司
副 幹 事	前 田 道 雄
会報責任者	吉 門 文 恵

● **ロータリーソング** 「我らの生業」

● **お客さま**

2670 地区ガバナー 木村大三郎氏
 ガバナー令夫人 木村久美子様
 ガバナー補佐 東 邦彦氏
 随員 (地区代表幹事) 野口一臣氏
 米山奨学生 王 静芸さん
 王さんの友人 パブロ・ラミーシャ・アラバースさん
 長期交換留学生 ルピタ・ロドリゲスさん
 会員ご家族 (敬称略・順不同)

入交ひろこ 杉本延一

土本雅子 土本満子 土本 拓 土本結以 土本加奈 土本圭子 土本航平 土本範子 土本穂乃
 中澤佐紀子 中村美津子 西山由理 久松智津
 宮地恵子 宮地文香 宮地泰正 宮地ことみ
 仁井田恭子 仁井田知将 仁井田将輝



● **木村ガバナーより、高知RC創立75周年のお祝いの賞状授与**

● **木村ガバナーとバナーの交換**

● **幹事報告**

- ・IMでの当クラブ発表者を河野弘訓直前会長にお引き受けいただきました。
- ・ガバナー事務所は12月25日から1月4日まで年末年始の休暇です。
- ・1月8日、新年第1回の例会で、卓話なしのサロン例会です。



● **ガバナーアドレス**

第2670地区ガバナー 木村 大三郎 氏



皆さん、こんばんは。ご紹介いただきましたガバナーの木村でございます。今日、家族でこうやって親しくご歓談する時に公式訪問ということで、誠に申しわけございません。決まりがございまして、公式訪問の一番は前年度のガバナーのところまわって、最後は次年度のガバナーのところという、従来の取り決めというか習慣みたいなものがあります。今日が73番目のクラブで、あとは自分のクラブだけになります。そういうことで、こんな日に巡り合いをしてしまいました。ご家族の皆さんにお目にかかれる楽しみはできたのですが、クラブの中で楽しく過ごす中に、硬いものが1人入ってまして申し訳なく思っております。

先ほどもお話がありましたが、地区事務所が早くから年末の休みに入ります。11月の中頃から事務方の女性がずっと土日休めずに出てきておりまして、少し年末だけはゆっくりさせて欲しいということで、どうぞお許しをいただきたいと思っております。

このクラブは関ガバナーで6代目のガバナーを出すと。非常に古くから、これだけのガバナーを出しているクラブはここだけで、しかも会員は88名、そのうち半分近くが50代までという素晴らしく世代交替もできて、その中できちんとしたクラブ運営、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕と全ての部門にわたって、本当にいいことをなさっておられる。しかも、出席率が90を常に越えるという素晴らしいクラブで、今さら何も申し上げることはございません。

若干、2つだけ申し上げますと、1つは来年度が、こちらの関ガバナーエレクトがガバナーになります。それにつきまして、1つは先ほども中村幹事さんがお話していただいたIMには、できるだけたくさんの方が出席して、関さんを盛り上げていただきたいと思います。

もう1つは、大切なロータリーの夢計画が来年の関ガバナーの時から始まります。私は関ガバナーがお金を使いやすいように、今年度書類を上げるだけです。来年度、関ガバナーの時から初めて地域でお金がいやすくなります。地域の財源は自分たちの財源として、事業規模の7割、上限30万まで出ます。人道的、教育的、地域の活性化に地区が判断したらお金が下りてくるということになります。今までは30万の奉仕活動をしようと思ったら、1000ドル、8万円の補助で22万はクラブからお金を出し



ていました。さらに、人道的な部分にという条件がありました。それが7割、21万の補助になり、クラブの負担は9万になりますので、関ガバナーの時に、自分のクラブに使えるお金がないなんてことがないように、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕の部門の方が相談して、3月ぐらいまでに申請の書類を出して欲しいと思います。自分たちが出したお金は自分たちで使う、当然の権利として、今までの奉仕活動の継続、あるいは新しい活動のために書類を挙げて、関ガバナーを応援していただきたいと思います。

このクラブは歴史と伝統、格式という素晴らしいものがあります。そして地区に関しても、中村さんが長期交換、山崎さんがロータリー財団、世界社会奉仕では西山さん、米山については安光さんと、いろいろ活動を助けていただいています。私が、こうしてできるのも皆さんのお陰だと思っています。また、来年度は森本さんをはじめ、皆さんで関ガバナーを支えるためにご協力をお願いします。

私は12年前、家内から肝臓をもらって生体肝移植を受けていて、障害1級を持っています。家内も6年前に脳出血で倒れて、リハビリで日常生活には差し支えないところにまで努力で回復して4級を持っています。その2人にガバナーをせよという話です。

私の父親は転勤族でしたから、徳島で小学校に入りました。戦後の混乱期ですから左で字を書いていた。それで先生から連絡があつて家と学校で強制的に右を使うようにされて、吃音になつてものが言えなくなりました。それから1年も経たないうちに父が東京へ転勤になりました。東京の小学校で、「徳島弁でもの言うてみ。言えんだろう」とか言われると腹が立ちますから、殴る蹴る、石を投げる、水をかける。先生に謝れと言われても、私は自分が悪いとは思っていませんからごめんと言わなかったんです。絶対悪くないと言って。言わないから職員室に立たされる。バケツを両腕に持って立たされる。それでもごめんと言わなかった。母親が来て謝って帰る。家に帰って私に「あんた何をしたの」「僕は悪いことはしていない」「嘘いったらいかんよ。おてんとさんが見てるんだからね」とことあるごとに言っていました。それ以上は何も言いませんが、悪いことをする度に「おてんとさんが見てる」と言われて、この言葉が私の人生の中で、何をしよう、こうしようか、おてんとさんが見てるとなると悪いことはできない。会社で公私を分けることも、母に言われたおてんとさんが見てるという言葉はずっと判断の基準にしてきました。

就職して3年目、小腸腫瘍が破裂して大量の出血で輸血しないと心臓が止まると言われて、売血であろうが何であれ緊急で16人の輸血をして、2年間入院してかろうじて一命を取り留めました。その時、おてんとさんが見るといふ発想から、ここで死ななかつたんだから、何か私にはやる仕事があるんだろうなと、臆気ながら感じていました。この時の輸血が後のC型肝炎の原因ではないかと思っています。

33歳の時、家内の実家の家業を引き受けるため香川に帰ってきました。その決断の時も、生かされている自分の役割かなという思いでした。仕事は未経験で、全く新しいことでしたから、仕事で人を押さえるわけにいかない。年も若くて、年齢でも押さえることができない。そん

な苦勞をしている時に、友達からロータリーに入らないかという話がありました。父親がロータリアンでしたので、「ロータリーってどんなところ」と聞くと、父親が「それは、お前入れ」と言いました。普通、父親なら「仕事を覚える方が先だろう」というだろうと思いますが、まず入れと。どうしてと聞くと「ロータリーはその地区で事業を成功されたりつばな人が入っている。だから、お前みたいな若いのが入って、話を聞くだけで勉強になる。推薦があるなら入れ」と言われました。ただし、「ロータリーは出席が義務だぞ。仕事が忙しいと思うけれども、欠席をして紹介してくれた人に迷惑をかけないなら入れ」ということでした。そんな形で入って、とにかく出席しかできなかったというのが本音です。

そんな中で、仕事でいろいろ困ったことがあるとロータリーの人に相談しました。先輩のロータリアンがずっと聞いてくれて、「分かった。じゃあ、この気持ちで行け。いると思うな、無視するな。人は後ろ姿で使うもの。これで行け」と。人は後ろ姿で使うもの。これは言行一致というか、何となく分かります。けれど、いると思うな、無視するな、これはちょっと分からない。ずっと考えていて気づきました。相手がいると思うとこちらが腹が立つ。ちゃんと説明してやっているのに何で反対のことを言って走るんだろう。だけど、無視をすると怒られる。つまり、先輩はちゃんと立てて、あちこちでいろいろ言われようと、お前が信じたことをちゃんと実行していただいたいんだと。そういうことが少しずつ分かって、事業もうまくいき始めてから、その事業は後継者に返しました。

そして、38歳の時、新しいトヨタの販売店をゼロから始めました。私は丸裸でしたからトヨタの中でも一番弱小のディーラーで、自分の家をつくるのも借金から。店の出資も、店をつくるのも全て借金からで、資産イコール負債の会社で後ろをふり向いたらひっくり返るので、とにかく前向いて仕事一途でやってきました。少し先に明るさが見えたかなという59歳になった途端にC型肝炎でひっくり返りました。医師からはあなたの肝臓の寿命は5年です。私が保証できるのは3年ですが、そのうちの1年は病院ぐらし、要は2年しか生きられないと言われました。しかし、2年じゃ借金が返済できるわけじゃなし、4人の娘が結婚するわけでもなし、会社も家も心配だけど、2年じゃどうしようもないなと思ったところへ、一番上の姉から「あなたの人生の醍醐味 これからに」という手紙をもらいました。そう言えば、遮二無二走ってきたけど、小さな楽しみはあったけど、醍醐味なんてなかったな、もう少し生きたいなという思いにかられて、先生に切っても何してもいいから生きる手はないかと言ったら、生体肝移植を紹介されました。当時、生体肝移植は100例ぐらいしか事例のない時で、保険もきかない。1000万を超えるお金も要る、健康な人にメスを入れる。医者からは、うまくいって1年で80%。あなたは肝臓に何回も腫瘍ができて潰しています。それがどこかに転移していたら5年で50%、このままいくと3年で0と言われました。そんなことから逡巡をしたのですが、たまたま、家内の肝臓が使えるということで、移植に踏み切りました。8月に申し込んだのですが、10月になっても11月になっても声がかか

らない。ようやく12月に何とかできそうだという連絡がありました。ところが11月の中旬に「木村さん、急に今月末に1つ部屋が空くようになったけどこられますか」と電話がありました。行ったら手術をしてくれます。何としてでもと思い12月前行きました。その3日後の夜中に食道静脈瘤が破裂しました。京大という緊急病院でしたから緊急手当を受けて、かろうじて一命を取り留めた。その時、血圧が50を切ったことまでは記憶があるのですが、後は記憶はありません。

振り返ってみると、25歳の時死ななかつた。食道静脈瘤の破裂は家にいたら完全に死んでいたのに、京大に入院していたから助かった。いろいろ大きな出来事があっても、これを乗り越えたら元気になる。これを乗り越えたら元気になると、何回か苦しいことを乗り越えられたのは、あの時死ななかつたからだ、頑張ったら大丈夫という思いがずっとありました。そして、先生から「木村さん、もう治ったから大丈夫ですよ」と言われた頃に、先ほど、千頭会長からもお話のあった経済同友会の代表幹事を引き受けて欲しいという話がきました。今度もロータリーから1級と4級の障害者にガバナーをせよと言ってくるんですね。吃音もそうですし、25歳の時の病气も全て、お前はまだまだ未熟だ、もっと苦勞して、勉強して、人の気持ちがかかるようになれと、修行を積んできて、今、やっと最終編とし

て、ガバナーとしてお世話になった方に恩返しをせよと言われてるんじゃないかと思えます。

「人事を尽くして天命を待つ」という言葉をよく聞きますが、私の場合は天から降ってきた仕事ですから、自分が一生懸命すれば出来、不出来は別だと。自分なりに一生懸命考えてやれば、それが私の役割だと思いできています。私1人では1台の車しか運転できません。けれども、地区の3000人一人ひとりが行動を起こしてくれたら、3000台の車が動き出します。皆さんがそれぞれ行動を起こして、奉仕活動や会員増強等、1歩踏みだしてくださると3000歩の歩みができます。先ほども申しましたが、私はロータリーで出席だけしかしてこなかった男です。ロータリーの知識が豊富なわけでもありません。従って、皆さんにとにかく、1歩を踏みだしてください。行動をしてくださいということをお願いしています。そうすれば、ロータリーは活性化して皆さんが、今より誇れるクラブになっていくと思います。

こちらのクラブは、高松クラブとお互いに88名の会員数で、双璧のように思います。80年に向かってもう一段磨きをかけて、格調ある発展をされることをお祈り申し上げて、私のアドレスといたします。ご清聴ありがとうございました。

◇木村ガバナー公式訪問・忘年夜間例会





🌸 1月のお祝い

- (会員誕生日) 竹下篤範 山内るり 細田長司 西山彰一 宮地彌典 各会員
- (配偶者誕生日) 中田心一 高野賀枝 吉原 操 竹内為子
- 山内豊和 村田弘子 西山 益 各会員配偶者
- (結婚記念日) 大野恭寛 尾木謙三 太田征男 野崎貴典 各会員

◇ 出席率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイクアップ	出席率
12月18日	(-6)88	62	20	0	75.61
12月 4日	(-6)88	54	17	11	79.27



◇ 例会変更 ◇

高知東RC	1月 9日	時間変更例会(阪)	高知中央RC	1月10日	夜間例会(城)
高知ロイヤルRC	1月15日	夜間例会(旭)	高知西RC	1月18日	新年夜間例会(三)
高知北RC	1月28日	新年家族合同夜間例会(三)			

※サインメーキャップのできるホテル (三)… 三翠園 (城)… 城西館 (阪)… ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)… ホテル日航高知旭ロイヤル

◇12月16日 次期 関ガバナー壮行会



◇12月25日 次期 関ガバナー激励会/高知RC女子会&〇〇男子



● 累計額 [12月18日現在]

ニコニコ箱	530,100 円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	83,975 円	ポリオ募金	235,593 円
-------	-----------	--------------------------------	----------	-------	-----------

■次週のプログラム [1 月 15 日]

会員スピーチ
秋山 貴之 会員
「室戸貫歩に参加しました」

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>